

事務事業マネジメントシート(令和 3年度実績と令和 4年度計画)

令和 4年12月21日更新

事務事業名		議会加盟団体参画事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	自治の健康			所属部	議会事務局	課長名	米澤 伸仁
	施策	2	行政改革の推進			所属課	議会事務局	担当者名	宮尾 和樹
	施策の柱	10	開かれた議会の推進			所属班	議会班	(内線)	1312
予算科目	会計一般	款 1	項 1	目 1	事業連番 10934	根拠法令			
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 3年度で終了 <input type="checkbox"/> 3年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	全国、九州、県等の市議会議長会や研修会に出席する。
【業務の流れ】	全国、九州、県の市議会議長会等で広域的な活動展開、各自治体との共通課題の取り組み、制度改革などの情報交換を行う。
【主な予算費目】	旅費（費用弁償・普通旅費）、需用費（燃料費）、使用料及び賃借料、負担金補助及び交付金（負担金・その他）
【意見や要望】	要望等は寄せられていない。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 3年度実績(3年度に行った主な活動)(DO)	県等の市議会議長会に出席した。全国、九州市議会議長会は書面決議となった。	4年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 全国、九州、県等の市議会議長会や研修会等に出席予定。 長野市で開催される全国市議会議長会研究フォーラム、合志市東京ネットワーク会議に参加予定。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 団体 → イ 全国市議会の数	予算の主な増減の理由 令和4年度全国市議会議長会の評議員役員のため旅費（費用弁償・普通旅費）の増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 議会（議長、議員、職員）	(単位) 回 → イ 議長会等の開催回数	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 情報を収集、交換することにより、議会活動の円滑化と活性化につながる。	(単位) % → イ 開催された議長会等に出席した割合	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
*③成果指標設定の理由と 4年度目標値設定の根拠 全国、九州、県の各市議会議長会に参画し、情報を収集、交換することで、議会の活性化に寄与することから、適切な情報の提供を指標とする。すべての議員及び議会事務局職員に対し、適切な情報の提供を行うことが、議会運営の前提となる。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	31年度 実績(決算)	2年度 実績(決算)	3年度 目標(当初予算)	3年度 実績(決算)	4年度 目標(当初予算)	5年度 予定	6年度 見込	7年度 見込	
① 活動指標	ア 団体		815	815	815	815	815	815	815	815	
	イ										
② 対象指標	ア 回		14	5	10	5	10	10	10	10	
	イ										
③ 成果指標	ア %		100	100	100	100	100	100	100	100	
	イ										
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	人件費	一般財源	千円	1,978	1,059	2,528	1,057	2,860	2,645	2,645	2,645
		(A) 事業費計	千円	1,978	1,059	2,528	1,057	2,860	2,645	2,645	2,645
		(A)のうち指定経費	千円	530	515	535	510	482	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	5	3	5	4	5	5	5	5
延べ業務時間	時間	1,060	820	750	680	750	750	750	750		
(B) 人件費計	千円	4,200	3,233	2,988	2,658	2,988	2,988	2,988	2,988		
トータルコスト(A)+(B)	千円	6,178	4,292	5,516	3,715	5,848	5,633	5,633	5,633		

事務事業名	議会加盟団体参画事業	所属部	議会事務局	所属課	議会事務局
-------	------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は3年度の事後評価、ただし複数年度事業は3年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 3年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 開催回数についてコロナ禍の影響により書面議決になった会議や中止となった研修会等もあった。
	② 4年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 全国、九州、県の市議会議長会からの最新の情報を、確実に全議員及び議会事務局職員に周知することは、議会運営の基本であるため、達成の見込みはついている。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 議会相互の共通課題や諸問題を会議で議論し、情報を交換している。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 他に類似する事業がない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最小限の支出であり、削減余地がない。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 各種情報の把握、共通課題等の共有が難しくなるため、削減の余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 各種情報、共通課題等についての情報は、定例会で報告され、資料等は誰でも閲覧可能である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 行政が行う分野であるため、移行できない。

3 評価結果の総括 (CHECK)

全国、九州、県の市議会議長会等に参画していることで、議会の機能が果たされている。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						